

改稅約定書
運上管録輸之品
運上目録輸出品

丙寅五月十二日

亞米利加合衆國シヤルセタフヘール

エキセルレンシー

アルセホルトメン

以書翰申入候明十三日 即黃國六月二十五日 周防守邸宅於て

改稅約書調印致し候様棄公使之請求小應し候間同

日午後第二時同所へ出張被致候様致し度先右と同

公使より其詳へ報知及びし事宜存候得方尚此段

申入候様具謹言

慶應二年丙寅五月十二日

外務

外務省

水野和泉号花押

和蘭コンシエルセネラール兼ホリチーキアクト

エキセルレンシー

ドテガラーフファンホルスブルーク

前同文言

丙寅五月十三日

魯西亞コンシエル

エスクワイル

エボワッオー

以書翰申入候各國交易規則中掲載せる通税則改正
之期限に及候間雙方協議之上取捨補正可致積之折
柄英佛亞蘭四ヶ國公使各其本國政府之命令に
依りて俱ニ高議ノ簡明便易にして貿易に容易ク
らしめんヲ為輸出輸入の各物惣て價五分を基本と
シ税額相定雙方決定の上別紙ニ通致決定候就テ

外務省

外務省

貴國と為取替し貿易規則中掲載とる所の報に隨ひ
税則改正の旨を以て存候間右別紙之報其政府に被中
立其政府於て承諾之上に此方委任之の旨を書面
取替置候様いふに依候依之別紙運上目録相添差送
候間右回答有之度候謹言

慶應二年丙寅五月十二日

水野和泉守花押

此送翰七月十三日、條二載ス

以内狀管上仕候所著之候所度候処弥而望國
勤仕被成弥重奉存候然者英佛亞蘭公使等と議
定之上而為取替相成候運上月録之儀ニ付其表
在留魯國因士に被作達候書簡而洞中前より
而達可相成候に候処四々國公使共被是差宛申
立間ニ合兼候間而洞中前より日附ニ而而達相成
候間其後而合可然而引合有之候様仕度且外物
書出ル為而取替相成候処右々々國限リ之儀
候得共其内第三條免狀而取立不相成との

外務省

外務省

儀其外各國之關係仕候事不少ニ付魯國士より
彼是可申立も程計在も此条約面外國人共之利
益をひらく可受孰之ヶ条有之候間魯國より
も無論其通り可被成違案之有之在也物書之儀
も先日詔藏及近内之由廻り申上置候書面と文
候ニ異同も有之候得共此執意柄ハ相違無之候
在魯國士より不日以函書簡在也物書寫り違
ニも可相成積ニ在度候間彼より申出候儀も有
之節も在也函會引合在度候様仕度奉存候
此候可御矣恙此此在度候以上

五月十五日

星野俊中守

兼池仔豫守

小出大和守候

松浦安序頭候

外務省

外務省

[Large empty rectangular frame]

以別紙被送候上候然も別紙内状ヲ以得未竟候通
リ改稅之儀ニ付四ヶ國公使与取替セ相成候
運上目錄書面之儀も右四ヶ國上も各其國語ヲ
以為取替相成別紙此方へ被差遣候蘭文之書
之候ニ付之も魯國ニシユルに右右目錄和文
而已被差遣候儀ニ有之候一と申和文之已ニ
も被方差支可申と存之候間蘭公使ノ兼之為
実合差出候同國文寫取差遣候間前書之次第魯
ニシユルに右引合之上取渡方有之候様存候

外務省

夕
牙
牙

右可得悉意如所度候以上

五月十六日

星野使中守

兼池仔祿守

小出大和守候

松浦兵庫頭候

續以彼方へ被差遣候西書簡を本月十二日附相
成若候に付同日江戸西差立之續西心得彼方へ
何と致申立候儀も候に在之候に西答置有之
候様以爲度世段西會近に申進置候以上

五月十五日附九日取急便西状西別紙共昨朝日
相達致被見候然に英外三分國公使等と西議定
之上為西取替相成候運上目錄之儀に付當港在
留魯國士に被遣候西書簡西調子前西達可相成
之処間、合兼候に付西調子前之日附より西達
相成候間甚段差合引合可申其他西書簡西取替
相成候処右に四分國取立之儀に候得共免状
料之儀其外各國に關係之事件有之候に付魯
國通商其通可被成達右西書之儀に兼白銀藏に

一
路
書

西廻一置之書面と小異と有之候得共大意違
無之魯圖は不日書翰を以て西達一可相成候
間彼より申出候儀も有之候より右之執差合引
合可申様西申紙之執差兼知候然も度今被遣
候運上目録を初報藏に西廻一置相成候西書
共い申之同人より差紙不申今被其地西引合之
様様を初被遣候西書翰之意も更ニ相承不申被
是先方より申候節答方も無之右取扱振西度
筆之儀も西老中方より西書取寄を以て被作渡
之度と存候間右省引傍到來可致候ニ付在西至

意柄兼知之上相違不申候申之至容地を之其
不都合ニ有之候間暫時西預り申置奉相分り
候之上相違候積ニ西度候且西地より諸國士に
西達之書面拙者心得品不申候申之引合向不都
合之儀も不才西書翰寫し西廻一紙相成候様先
役共々西打合申置候由之度今被之右寫し西
差紙無之摘更西執差柄相分り兼候間是近之通
寫し送便西廻一有之候様以爲一度存候此後西
執事可得西意此斯西度候以上

六月二日

松浦兵庫頭

十
終

外
務
省

兼記存録守帳

星野俊中守帳

猶以函別紙函申載之執業知運上月録蘭文寫致
落口候

一不出大和守儀出府出帆後ニ付拙者一名を以て及
函載候以上

六月二日附函返書被見函申載之執業知以也

候迄之英國外三ヶ國公使と為函取替相成候約

書并運上月録寫共為函申採去月八日報藏及口

函也一申稱委初之函主老を以口上函該申候

処早之其表に函差廻函申送可被成候旨函接抄

有之候間前函書之加論委曲之函執業を以函兼

和之儀之相心得候間別段函達不申候処いふ

其表に到着不致事柄函了辭被成兼候執ニ候得
共此程之最早函落口委初函兼和之儀ニ可有之

外
務
省

外務省

且函卷中方より函書取を以既ニ被作渡候儀旨
存候間別段寫差進不申候將諸國士に相違候書
簡寫之儀も素より函廻し申候心得ニ有之候処早
急之儀取落相成候間別段申致之儀ニ没ひ別紙
函書簡寫差進申候此段可將函書差進申候儀以
上

六月廿九日

星野俊中守

弟池仔豫守

秋浦兵庫頭松

丙寅五月十二日

千八百六十六年六月廿四日江戸不列顛公使館

外國事務執改閣下

余閣下ニ希ふ日事人外國に出立免許之事ニ付五月
廿三日布告書の寫しを今日致仰朝より又余了送し
給ふ處に是閣下のおきくおとく明日願申す所なき約
書中第十條に別段此事に付記しある事向の取立
に不惶致白

ブリタニヤマゼスチー特派公使全權ニニストル

ハルリイパルクス 手記

外務省

外務省

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

丙寅五月十三日

大親利太丞時流公使全權ニシテ兼テシテヤラシ

エキコルレンシ

ハルリース パルクス

貴國光六月廿四日附書翰落手世程我方於て國內臣
 氏江外圍渡航免許之候觸示せし事向寫貴方急速入
 用ニ付可差送様波申裁並様ハ申一候別別紙差進申
 候間收手有く度候詳具謹言

慶應二年丙寅五月十三日

水野和泉守

杉年固防守

外務省

別紙布令書ハ此件ニ関ラサルヲ以テ略ス

改稅約定

日本と改五十年戊午(西曆一千八百五十八年)日本政府と
大親利と泥立佛蘭西と米利加台衆國荷蘭四ヶ國と
取替し條約ヲ添ハタシ交易規則第七則ニ定メ置し通
リ其輸入輸出の運上目録を改むべき旨右四ヶ國の
名代人等との政府より一様の命令を受け且日本
慶應元年乙丑十月(西曆一千八百六十五年十一月)四
箇國の名代人等と改五十年(折)日本政府より輸入輸
出の諸品都て價五分の運上を基本とし右運上目録

文
書

を猶豫なく改むべき無き約束し將日本政府と外國との交易を盛んし和親の交際益為らんとすを欲するの意を更々顯せんとす存す日本外國事務老中水野和泉守殿大総利太泥豆の各代人シル、ヘンリ、パーक्स、佛蘭西の各代人モツシユル、レオンロセス、並米利加合衆國の各代人ユルシホルトメン、ユスツワ、イル、荷蘭の各代人モツシユル、ド、デ、ガラーフ、フアン、ポルスブルツク合議の上左の十二條を決定せり

第一條

各政府の各代より此度約書を議定す全權を此

約書に添たる運上目録を採用し各政府の臣民皆堅く此を遵守すべし事とせり其運上目録を日本と右四箇國と取結たる條約に添たる元の運上目録に代るのみならず又日本政府と大総利太泥豆佛蘭西並米利加合衆國政府と其迄度と取結たる右運上目録に關係する別約に代るものと右右新運上目録取行ふ事神奈川に於てを日本慶應二年丙寅五月十九日(西暦千八百六十六年第七月一日)より長崎預備に於てを同六月廿一日(第八月一日)よりとす

第二條

此度の約書に添たる運上目録を調印の日より日本
と右四ヶ國と取扱たる條約の内五條七々を以て日本
兼壬申年中(西洋千八百七十二年第七月一日)に至り
添むしと雖も茶生絲運上の分を此度の約書調印
より二箇年の後雙方の内何處の方よりありしを六
ヶ月前に告知し三箇年中平均相場五分五厘
を之を改る事を求むしと木材木の運上を此度の約
書調印より六ヶ月後を告知し其時相場を後の運上
幅を定むる事を得し

第三條

元條約に添たる交易規則の第六則に於て是迄取立
兼運上免狀料を此度より相廢せしむる荷物陸揚船積
に付るの免狀を是迄通りたるしと雖も以後を其
謝銀を出さず事あるし

第四條

神奈川に於て日本慶應二年丙寅五月十九日(西洋千
八百六十六年第七月一日)長崎前館に於て日本慶應
二年丙寅八月二十三日(西洋千八百六十六年第十月
一日)より日本政府輸入する者より運上を納る事
なく其輸入品を蔵し入置用意を爲すし日本政府より

其品を預り置向し盜難並風雨の損害あり様引受
負しむ火難と政府より引受むと雖も外國商人共右
荷物火難の憂念十分出来しき様堅固の土藏を取
建負し能ては荷物を輸入する人又は荷主之を藏ま
り引取んとする時と運上目録通り運上を辨ふべ
し其品物を再輸出せんと欲する時と輸入運上を
納る及は是荷物を引取ら節は何れも藏敷を辨
ふ應し右藏敷高並貨藏取扱向規則と雙方相談の上
議定せしむ

第五條

日本の産物と運送の陸路水路修復の爲諸商賣に付
て取立る通例の運上の外に別な運送運上を納むる
事なく日本の内何れの地より外國交易の爲開き
たる各港へ運送する事勝手なるべし

第六條

日本と外國との條約中に外國貨幣と同種同量の割
合を以て通用せしむる取極たる箇條は従ひ是迄日
本運上所より墨是哥ドルラルを以て運上を納むる
時と壹分銀の量用ひ比較しドルラル百枚を一分銀
三百十一个の割合を以て換取せしむる處日本政

府に於て右は未だ改め總て外國の貨幣日本の貨幣
と引替ふ事不障りかき様あり日本通用の貨幣を
不足あり様あり交易を便利せしめ事を欲するに
り日本金銀取引所を盛大にせし事を既に決り然
る上日本人も又外國人も差出さし總て外國
金銀貨幣並地金を日本貨幣と改替へ其諸雜費を差
引其質の眞位を以て其爲め定むたる場所と於て引
替へしを此處置を行ふ爲め日本と條約を取信ひし
各國と其條約の書載たる貨幣通用に關係する關係
を改むる事緊要なるに右と條を改むる様日本政府

より申渡し承諾の上日本未だ卯年十一月中(西曆千
八百六十八年第一月一日)より其處置を行ふ爲め
改替の雜費として取立し高の割合を向後雙方の
全權協議の上定むべし

第七條

運上所諸取扱向荷船の陸揚船積及の船入是の雜費
雇方と付同港場は於て是迄所出たる不都合を除く
る爲め各同港場の奉行連と外國のコンシユルと於
て及の雙方協議の上右の不都合決して無き様規
則を立交易の通条各人の所務を可成り容易くし且

安全を分りたる様雙方妥協を議定せり
右規則の内ニ各港ニ於テ外國人荷物陸揚船積の
爲ニ用ふる波戸場の内ニ各荷物雨露ヲ損セヨリ様
小屋掛を作爲す事ヲ書入ル

第八條

日本人身分ヲ拘ハクテ日本開港場又ニ海外ニ於テ
旅客又ニ荷物ヲ運送スルニ各港ノ帆船船蒸氣船共買
入ル、事勝多ク有ル所ニ各軍艦又日本政府ノ免許分
け重ハ買入ル、事ヲ得也
日本人買入ル、諸外國船ニ蒸氣船又ハ噸ニ付一分

銀三圓帆船船又ハ噸ニ付一分銀一圓ノ運上ニ定規
リ相付ル時日本ノ船トシテ船月録ニ書載スル
右其船ノ噸數ヲ定むル爲メ日本長官ノ需ニ應ジ其
船ノコンシユルヨリ本國ノ船月録ヲ相示シ其真を
證スル

第九條

日本右四ヶ國ニ取結ビたる條約且日本政府ノ使
者日本文久二年壬戌五月九日(西曆千八百六十二年
第六月六日)大親利太泥三政府ニ送ケル勅書及同
同八月十三日(第十月六日)佛蘭西政府ニ送ケル勅書

又載せたる別約は後日日本人と外國人と交易又と
 交通を多事の妨を全く除くべき趣を以て日本政府
 より既に觸書を達したり就ては日本の諸商人政府
 役人の立合なく相對し日本の開港場及び此約書中
 第十條に記載せたる仕方より海外へ出たり許しを得せ
 し各外國に於て外國商人と交易を多事勝手なるに
 尤も日本商人通例商賣を付し取立る運より餘分は
 日本政府へ收むる事なく且諸大名並に其使用せる
 人と現在取締の規則を守り是種の運上を絶つ時
 日本役人の立合なく諸外國又も日本の諸開港場は

其其場所より交易を多事右同様勝手な事なるべし
 第十條

日本人身分は物より日本の開港場又も各外國の港
 々より日本の開港場又も各外國の港へ赴くべき
 日本人所持の船又も條約條外國船より荷物を積入
 る事勝手なるべし且既に日本慶應二年丙寅四月
 九日(西洋一千八百六十六年第五月廿三日)日本政府よ
 り觸書を以て布告せし如く其取しり政府の印章を
 得ては修行又は商賣を爲し外國へ赴く事並に日
 本と親睦を爲し各外國の船中へ於て諸船の職事を勤

知 務 省

百事故障あり

外國人雇置く日本へ海外へ出るときは開港場の奉行
へ願出政府の印章を得る事始めあり

第十一條

日本政府は外國交易の爲め開きたる各港最寄船と
の出入安全のため燈明臺浮木瀬印木等を備ふべし

第十二條

此約書取行ふ以前雙方政府許允の沙汰を待た及
びる故日本慶應二年丙寅五月十九日（西洋千八百六
十六年第七月一日）より取行ふべし

右約書を政府許允の上を雙方の全權其段互に通達
すべし

右通達の書面を雙方

君主保證の代りとし

此證據として前文全權此約書を名を記し調印せり
日本慶應二年丙寅五月十三日（西洋千八百六十六年
第六月廿五日）江戸に於て雙方全權各其國語を以て
之を記せり

水野 和泉 守花 押

英國特派全權公使

外 務 省

パ
ー
ク
ス
印

佛國全權公使

ロ
セ
ス
印

台衆國代理公使

ホ
ル
ト
メ
ン
印

蘭國目代公使
フニシエルク
ラール

ホ
ル
ス
ブルック
印

慶應二丙寅年五月十三日(西曆千八百六十六年
第六月二十五日)和英佛蘭四語ヲ以テ江戸ニ於テ調印

運上月録輸入品

第一種

一 明馨 百行ニ付 壹分銀〇一五

此銀ニ文目二分五厘

二 檳榔 全 全〇四五

全 六文目七分五厘

三 銅ボタン 百四十四(即チ下ロイシ) 全〇二二

全 三文目三分

四 蠟燭 百行ニ付 全二箇二五

外
務
省

外務省

此銀三文月七分五厘

五 帆木綿類 十ヤードニ付 壹分銀〇二五

全 全

六 卷烟草 壹斤ニ付 全〇二五

全 全

七 下子並母下子 百斤ニ付 全一箇

八 コンシール(洋紙) 全 全二十一箇

九 繩(船用) 全 全一箇二五

此銀三文月七分五厘

十 縹綿 全 全一箇二五

全 全

木綿織物類

十一 生金巾 晒金巾 小巾金巾 白綾金巾 白殺金巾 深綾金巾

深無紋金巾 雲高木綿 カムブリツクス 異冷紗

更紗形異冷紗 柳條布 コイルチング コット子ツ

ト 更紗類 右品々深色

右

甲 巾三十四インチ迄 十ヤードニ付 壹分銀〇〇七五

此銀一文月一分二厘五毛

乙 巾早イニチ迄 全 全〇〇八七五

外務省

夕 務 書

丙	巾四十六センチ筵	十ヤールド二寸	壹分銀〇一
全	一文目五分		
丁	全厚六十センチ以上	全	全〇一〇二五
全	一文目六分八厘七毛五糸		
十二	唐襪類又布		
右			
	巾三十一センチ筵	十ヤールド二寸	壹分銀〇一七五
全	此録二文目六分二厘五毛		全 二五
	全 <small>三十一センチ筵 四十三センチ筵</small>		

十三	敵織天鷲絨	綿天鷲絨	段綿天鷲絨	襦子
	巾三十五センチ	綿純子		
右				
	巾四十一センチ筵	十ヤールド二寸	壹分銀〇二	
全	三文目七分五厘			
十四	縞布			
	巾三十一センチ筵	十ヤールド二寸	壹分銀〇〇六	
全	此録九分			
	巾四十三センチ筵	全	全〇〇九	

夕 務 書

外務省

此銀一文同三分五厘

十五 手拭 十二寸 壹分銀〇〇五

全 七分五厘

十六 木綿襦袢四股引 全 〇三

全 四文月五分

此廉安後子祀しあり毛織の部も共ふヌリヤ

ス也

十七 飯臺脚 一枚、付 壹分銀〇〇六

此銀九分

十八 木綿多縁同片付 百行、付 全七箇五
孫(白並深色)

全 七文月五分

烟巻真の習無、狗分

十九 木綿縁(白並深色) 百行、付 壹分銀五箇

二十 阿仙薬 全 〇七五

此銀十一文月二分五厘

廿一 翡翠孔雀置毛類 百枚、付 全一箇五

全 七文月五分

廿二 燈石 百行、付 全〇一二

全 一文月八分

廿三 檀椰膏 全 〇四五

外務省

外務省

此録六文月七分五厘

廿四 雜費 百行三行 壹分銀三箇七五

廿五 硝子板 全 十一文月二分五厘

廿六 膠 全 五文月二分五厘 百行三行 全 〇三五

廿七 安息香並安息油 全 九文月

廿八 麒麟血沒藥乳香 全 六文月 全 二箇四

廿九 全 一箇八

三十 全 十二文月 全 〇〇八

三十一 生牛皮 全 一文月二分

三十二 犀角 全 三文月 全 一箇二

三十三 鹿角 全 七分五厘 全 一箇〇五

三十四 犀角 全 三箇五 全 三箇五

三十五 馬蹄鉄 全 七文月五分 全 〇三

三十六 全 〇三

外務省

此録四文月五分

三十四 水鏡(藍の流動物) 百行ニ付 壹分銀〇七五

全 十一文月二分五厘

三十五 土靛(藍の乾き方物) 全 全三箇七五

全

三十六 象牙各種 全 全十五箇

三十七 丹 唐の玉黄丹 四箇 全 全一箇五

此録七文月五分

三十八 革 全 全二箇

三十九 麻布類 ナールドニ付 全 全〇二

此録三文月

四十 丹柄 百行ニ付 全 全〇一五

全 二文月二分五厘

四十一 ヲンパニ敷物 一卷ニ付 甲アルト 全 全〇七五

全 十一文月二分五厘

金類

四十二 銅並青銅板棹釘等 百行ニ付 壹分銀三箇五

此録七文月五分

四十三 黄銅並ミニョックメタル板釘 百行ニ付 全 全二箇五

全 七文月五分

外務省

四四	熟鍍(掉火細並釘通)	百行ニ付	壹分銀〇三
		此銀四文月五分	
四五	鍍塊	全	全〇一五
		全 二文月二分五厘	
四六	松脚(筒)白鍍	全	全 六
		全 九分	
四七	鍍針金	全	全 八
		全 十二文月	
四八	鉛塊	全	全 八
		全	

夕 務 備

四九	鉛板	全	全一箇
五十	豆鉛	全	全〇六
		此銀九文月	
五一	鋼	全	全〇六
		全	
五十二	錫	全	全三箇
五十三	鍍葉	重九十分迄リ箱	全〇七
		此銀十文月七分	
五四	蠟引形付敷物 <small>地敷</small>	十ヤードニ付	全〇三
		全 四文月五分	

夕 務 備

五十五 瀨引似度軟駒（原田） 全

壹分銀〇一五

全 二文月二分五厘

五十六 白胡椒 黑胡椒 百斤（付） 全一箇

五十七 木香 全 全二箇二五

此録三文月七分五厘

五十八 水銀 全 全六箇

五十九 幾那陸 一行（付） 全一箇五

此録七文月五分

六十 藤 百斤（付） 全〇四五

全 六文月七分五厘

六十一 大黃 全 全一箇

六十二 鹹魚 全 全〇七五

此録十一文月二分五厘

六十三 白檀 全 全一箇二五

全 三文月七分五厘

六十四 蘇木 全 全〇四

全 六文月

六十五 海馬牙 全 全七箇五

全 七文月五分

六十六 一角牙 一行（付） 全一箇

六十七 麩皮

百枚ニ付

壹分銀七箇五

此銀七文月五分

六十八 喫煙草

一行ニ付

全〇三

全 四文月五分

六十九 石鹼

百斤ニ付

全〇五

全 七文月五分

七十 紫梗

五

全一箇七五

全十一文月二分五厘

七十一 赤黒砂糖

全

全〇四

全六文月

七十二 白砂糖

全

全〇七五

全十一文月二分五厘

七十三 氷砂糖

全

全一箇

七十四 煙草類

全

全一箇八

此銀十二文月

七十五 朱

全

全九箇

毛織物類

七十六 大羅紗

小巾羅紗

ハピントコロツ

中等羅紗

右

巾三十四インチ程

十ヤードニ付

壹分銀〇六

此銀九文月

巾五十五インチ迄 ナヤールトフ

壹分銀一箇

全五十五インチ迄 全

全壹箇二五

此銀三文月七分五厘

七十七

是班牙製備身羅紗 全

全〇七五

全 十一文月二分五厘

七十八

毛織子 フラ子ル 羅脊板

セルジス

右

ナヤールトフ

壹分銀〇四五

此銀六文月七分五厘

七十九

襦布

全

全〇一五

全 二文月二分五厘

八十

蘭口吳呂服

ナヤールトフ

壹分銀〇七五

此銀十一文月二分五厘

八十一

英口吳呂服

全

全〇四

全 六文月

八十二

ラスチング ケレーポ ラスチング ヲルステット ケレーポ メリノス

其外都て毛織物

右

甲 巾三十四インチ迄 ナヤールトフ

壹分銀〇三

此銀四文月五分

余三 毛本綿交織物

乙 中三十四インチ以上

十ヤード付

壹分銀〇四五

イミテーションカムレット、イミテーション
スタンピング、ポレーンオルレンス、ヒギ、エールド
ルレンス、プロレーンルストル、ヒギエールドルス
トル、アルパカ、バラシース、ダマスクイタリヤン
コロツ、タフアセラス、ロスセルコルド、カウサン
ドラ、カールレンシアアンシ、カムレット、コルド、其
外毛と本綿と交わる織物

甲 中三十四インチ迄

十ヤード付

壹分銀〇三

此録四文目五分

乙 全三十四インチ以上

全

全〇四五

全 六文目七分五厘

八十四 ブラシケット並馬糞

十付付

全〇五

全 七文目五分

八十五

モヘール敷物フレイツ
並シヨラルス

一枚付

全〇五

全 全

八十六

形附毛織飯臺掛

全

全〇七五

全 十一文目二分五厘

八十七

毛織襦袢同股引

十二付

全一圓

八十八

毛糸綿交織物等類

全

全〇六

此録九文目

九十九

毛絲(白並染色)

百行ニ付

全十箇

第二種(無稅品)

食料又ニ荷物運送ニ用ふる諸獸類

磁並鎖の綱

石炭

外國の衣裳(但此運上目録中ニ載せらるる品ニ限る) 金銀貨幣ニ作りたる者又ニ作りたる者

穀類 粟 粳 麥 燕麥 粟 黍 稗 玉黍

右務類

油糟(豆の油を承りし糟)

荷造ニ用ふる器

板本

鹽

鹽漬の食料(樽に入らるる者)

硝石

ソルトル

ナル並チヤン

茶を製する鍋並籠

茶鉛

旅中國荷物

第三種(禁制品)

阿片

第四種(元代以後の五分の税を収むる品)

兵器並軍用諸品類

巴里斯品

長管並管

時計類並オルゴール

珊瑚

刃物類

藥種水藥類(即人參等の如き類) 漆具

西洋陶器 磁器

諸般家具(新舊を論せず)

硝子器

金銀の條並組

ゴム類並香椒類

硝子燈類

鏡類

珠玉類

器械類並鏡及銅器

絹絲或ハ絹木綿雜織物

絹毛雜織

物類(即天鷲絨、タマシク、プロケートの類)

油畫並銅板木畫類

香具石鹼

金銀並磁金器物類

獸皮類

遠月鏡並學藝上用ふる器具

材木

酒類 酒精類 食料諸類

其他右に掲ぐる諸物品

江戸約書第八條に隨ひ外國船より日本へ賣渡す

外務省

主 蒸氣船 主 一トシ五分 主 一トシ五分 主 一トシ五分 主 一トシ五分 主 一トシ五分
 一トシ五分 一トシ五分 一トシ五分 一トシ五分 一トシ五分 一トシ五分

夕
 積
 船

運上月録輸出品

第一種

- 一 干鮑 百斤ニ付 壹分銀三圓
- 二 鮑貝 全 全〇〇八
- 三 樟腦 此銀一文目二分 全 全一圓八
- 四 茯苓 全 全 全〇七五

全 十一文目二分五厘

外務省

十	乾魚(即鮓鹽漬)	全	〇七五
十一	鷄	全	一箇〇五
十二	五倍子	全	〇九
十三	銀杏	全	〇四五
十四	麻	全	二箇
十五	蜂蜜	全	一箇〇五

五	桂皮	此銀四文月五分	百斤二付	壹分銀〇三
六	桂子	全	三文月七分五厘	全二箇二五
七	石灰	全	六分	全〇〇四
八	操綿	全	三文月七分五厘	全二箇二五
九	棕櫚皮	全	六文月七分五厘	全〇四五

廿一	茸類	全	全五匁
廿二	魚油	全	全〇三
廿三	菜種油	全	全一匁〇五
		全	七分五厘
廿四	書物用紙類	全	全三匁
廿五	下品の紙 <small>廻り紙 漢紙</small>	全	全一匁
廿六	豆類	全	全〇三
		全	回文月五分
廿七	牡丹皮	全	全三匁

		全	銀七分五厘
十六	鹿角	全	百斤二匁 壹分銀〇九
		全	十三文月五分
十七	煎海鼠	全	全三匁
十八	錢 <small>(日本産)</small>	全	全〇六
		全	九文月
十九	寒天	全	全二匁二五
		全	三文月七分五厘
二十	鉛	全	全〇九
		全	十三文月五分

知
稽
備

此銀十一文月二分五厘

廿八 五升萃 百行、付 壹分銀〇一五

全 二文月二分五厘

廿九 屑布 全 全一ニ

全 一文月八分

三十 酒盞燒酎類 全 全〇九

全 十三文月五分

三十一 板昆布 全 全〇三

全 四文月五分

三十二 刻昆布 全 全〇六

全 九文月

三十三 菜種 全 全〇四五

全 六文月七分五厘

三十四 胡麻 全 全〇九

全 十三文月五分

三十五 鱧鱈 全 全一箇八

全 十二文月

三十六 乾海老 全 全一箇八

全 十二文月

絹絲類

外
務
省

早八	番茶 <small>長崎 五ヶ所 五ヶ所 五ヶ所</small>	全	七文月五分	全	〇七五
早九	葉烟草	全	十一文月二分五厘	全	〇七五
早七	茶	全	四文月五分	全	三箇五
早六	硫黄	全	六文月七分五厘	全	〇三
早五	醫膏油	全	一文月一分二厘五毛	全	〇四五

早七	虫絲 <small>五ヶ所 五ヶ所</small>	百斤、付	壹分銀七十五箇
早八	玉絲	全	全二十箇
早九	鬚斗絲	全	全七箇五
早	真綿	全	全二十箇
早一	壳蛹	全	全七箇
早二	蛹	全	全十二箇
早三	屑絲 孟屑蛹	全	全二箇二五
早四	蠶卵紙	一枚、付	全〇〇七五

此録三文月七分五厘

此録七文月五分

此銀十一文月二分五厘

五斗 製したる烟草 百斤ニ付 壹分銀一箇五

全 七文月五分

五斗 素麵 全 全〇四五

全 六文月七分五厘

五斗 木蠟 全 全一箇五

全 七文月五分

五斗 密蠟 全 全二箇五

全 七文月五分

第二種(無税品)

文 種

金銀(貨幣ヲ造リたる者)
金銀銅(貨幣ヲ造ラざる者)

但し公の入札ニ入る只政府より賣渡す

第三種(禁制品)

米 粳 小麥 大麥並其粉

硝石

第四種(元代ノ隨ハ五分ノ税ヲ收むル品)

竹器諸類

銅器諸類

木炭

木炭

人参並其ノ掲ケル藥品

鹿茸

座席類

絹衣服並織物又ニ縫箔シタル衣服

材木

其他掲ケル物品

知
務
書

規則

第一則

輸入月録ヲ載セタル品ヲ輸出月録ニ載ケル事アリ
共ニ之ニ隨テ税ヲ納ムルハ其元代ニ隨テ税ヲ納ム
ハ一輸出口録ニ載セタル品モ右同様ナルハ一

第二則

日本ニ在留セタル外國人及ハ外國船ノ乗組人又旅客
ノ自己ノ入用ニ足ルモノ又ハ輸出月録ニ載セタル穀
物並ニ粉ヲ買入ル、事ヲ許スルハ其右穀物並ニ粉

入
各
小
目

を外國船に積込んとする以前に通例の通運出所より
船積の免許状を得る事を必用とする

第三則

此規則に載るる所の日本一匁(即百六十匁)を英吉利
ヤホイルヂユポイト貫目一ポンド及三分一を當り
一ヤード(日本曲尺三尺餘)を英吉利尺度三フット
を當り一分(目方二文)三分を日本の銀貨より其
重さトロイ貫目百三十四グレイン以下を其質を
純銀の九分以下を其空物より一分より多々あり
る一匁分以下の數より一分を百分にせし算點あり

水野和泉号花押

英國特派全權公使

ハルリー、エス、パークス手記

佛國全權公使

レオニロセス手記

合衆國代理公使

エ、デ、ホルトメン手記

蘭國目代兼コンミンセネテール

フアン、ホルスフルック手記

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

家
目

夕
暮
日

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

通 56-0399

<http://www.jacar.go.jp>